

カベを取り払ってみんなが自由になる「ひろば」「ひろば」「ひろば」

壁をなくすことで心理的な壁をなくした地域の拠点の新たなスタート

菊名駅から南に少し坂を上った錦が丘の住宅街にある「菊名みんなのひろば」。道路から庭と縁側が見え、立ち寄ってみたいくなる空間です。ここは、地域の様々な活動の拠点としてだけでなく、「お水飲みせー!」という学校帰りの子ども、「子どもが寝ちゃって、少し休んでらっしゃいますか?」という子育てマ



菊名駅への往来の多い通りに位置する菊名みんなのひろば。

マなど、色々な人の立ち寄り場になっていきます。

錦が丘地区は、戸建てが多い閑静な住宅地です。長く住む人が多く、10年前から移動や買い物に不便を感じる人のために「ミニコミュニティバス」を走らせたり、地域のために開かれた「ギャラリー」の名前をとって「弥平のつどい」と呼んでいる情報交換の会を開くなど、自ら町を住みやすいものにしていく、という動きが盛んなまちです。

ところが、駅に近いという利便性ゆえに、マンションが増え、近年環境が激変しています。新しい住民が増え、子どもも多いけれど、高齢化、孤立化もすすんでいます。新しい住民の方や引きこもりがちな方、サポートが必要かもしれない方たちとのつながりがないことに課題があると感じるようになった地域の人は、気軽に集まる場所があればと思っています。しかし、この地域には公共施設がなく話をするにも集

まる場所がありませんでした。活動拠点が欲しいというのが地域の思いでした。

そこで、不動産業を営む植村さんは、一軒の家を提供しようとして申します。それを聞いた地域の人たちが集まり、ここでどんな活動ができるかをみんなで考えることに。平成31年4月に「新たな拠点づくりワークショップ」を行いました。その後も定期的に集まり、具体的に何をす



元あった壁を撤去して見た目にも入りやすくなった。



整備したデッキは縁側のようにも使われている。この日は駄菓子を買った子どもたちの居場所に。

の役割も変わってきました。

小学生や中高生など若い世代も来るようになり、多様な出会いが生まれています。日常的にもご年配の「ミニコミュニティバス」の運転担当者が待機している横で、子どもを遊ばせながら母親同士がおしゃべりするなど、多世代が集う素敵な空間になっています。

植村さんは「地域の課題、人それぞれの思いなど、段階を踏んで、その先にまちづくりへの関心を持たれるようになると思います。私もそうでした。そのためには議論の場が不可欠で、ひろばの存在意義は『語る場』を提供することだと思っています」とおっしゃいます。その言葉の通り、ひろばからまちづくりがどんどん



スロープを設置して車椅子の方も気軽に訪れることができるようにした。

は一般の住宅ということもあり、建物の外周が壁で閉ざされ、その存在や活動の様子が分かりにくく、地域の方とのつながりが生まれにくい状況でした。住宅の扉を取り払い、玄関までスロープをつければ、もっと人を受け入れやすくなると話が進み、その整備にまち普請を活用してはどうかと声が上がりました。そこで5月に申請を決めて、「菊名・錦が丘にみんなのひろば」をつくる会」を結成し、6月に提案書を提出。すべに7月の1次コンテストに向けて準備が始まりました。メン

バーでお揃いのTシャツを着込み臨んだ1次コンテストは無事に通過。しかし、急に整備に向けて動き出したことで近隣から少し不安の声が上がりました。そこで趣旨を理解してもらえらるよう、説明会を開催したり、個別に説明に回るなど、丁寧にコミュニケーションを取っていきました。また、催し物を実施する中で、地域の賛同者が着実に増えていき、見事に2次コンテストを通過しました。

整備を終えて、令和3年5月にお披露目を開きました。「新たな拠点づくりワークショップ」から2年、「菊名みんなのひろば」として新たなスタートを果した拠点は、駄菓子屋やカフェなど、多様な活動の場所として活用されています。それぞれの活動者が「みんなのひろばをつくる会」として一体となることで、つながりが生まれ、共同で場を盛り上げる機会も増えています。

コロナ禍であっても、工夫して活動を続けることで地域ケアプログラムのサテライトになったり、地域住民らで企画された「近所文化祭」の会場の一つになったり、拠点そのもの

広がっています。

「みんなのひろばをつくる会」代表の清水さんは「駄菓子屋もカフェも、地域のつながりをつくるためのツールです。施設が提供され、さらにまち普請によって、物理的な壁を取り払ったことで、より利用しやすい場所になり、多様な人が集まってきて、心理的な壁のみならずいろんな『壁』も取り払うことができつつあります」と言います。

カベを取り払った一軒の家が生ま出すエネルギー、これからも展開が楽しみです。

カベを取り払ってみんなが自由になる「ひろば」(港北区)

整備主体：菊名・錦が丘にみんなのひろばをつくる会

整備場所：港北区錦が丘17番7号

整備内容：外構(塀、階段、庭)の改修、スロープ新設等

竣工時期：令和3年3月

Access Map

至 渋谷
至 八王子
至 横浜

保育園
郵便局
薬局
整備場所